

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 : 2020年1月～2020年12月

2020年度



作成日 2021年8月20日

(適用ガイドラインは2017年度版による)



松美段ボール株式会社

長崎県東彼杵郡川棚町新谷郷1258-6

目 次

1. 組織の概要	3-4
2. 環境経営方針	5
3. 環境負荷の状況	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営計画	8
6. 環境経営目標の実績とその評価	9-10
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取り組み	12
9. 当社の環境活動	13-14
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	15
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	15

1. 組織の概要

(1) 事業者名および代表者名

松美段ボール株式会社
代表取締役社長 杉本和基

(2) 所在地

〒859-3169 長崎県東彼杵郡川棚町新谷郷1258-6

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役工場長 福田栄
EA21事務局 品質管理室長 島田直己
TEL 0956-82-2613
FAX 0956-82-2618
URL <http://www.matsumi-db.co.jp>
E-mail mail@matsumi-db.co.jp

(4) 事業内容

段ボール箱の製造並びに各種包装資材の販売

(5) 事業の規模

会社設立: 1972年9月 資本金: 1,000万

(年度は毎年1月～12月)

	2018年度	2019年度	2020年度
生産量 [千 m^3]	2,689	2,669	2,553
工場敷地 [m^2]	4,620	4,620	4,620
床面積 [m^2]	1,638	1,638	1,638
従業員 [名]	16	19	19

(6) 対象の範囲

事業に関わる全活動・全組織を対象範囲とする。

事業活動; 段ボール製品の製造・販売

(7) 対象の期間

第49期: 2020年度
2020年1月～12月

(8) 資格取得一覧

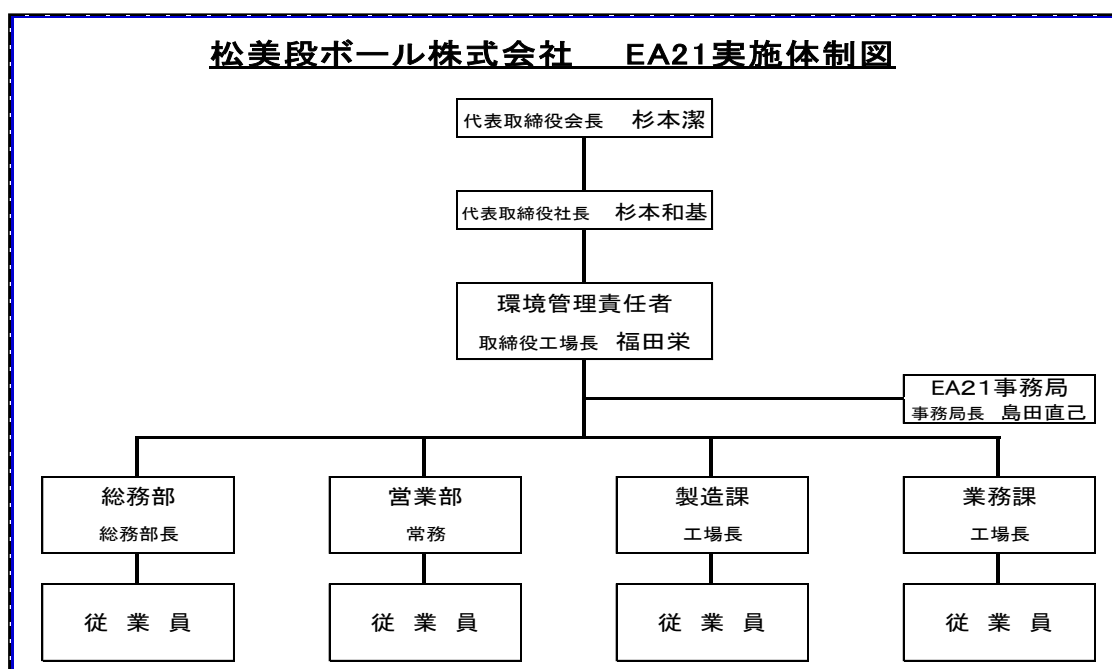
資格名	保有者数	備考
第1種衛生管理者	2名	
クレーン特別講習	2名	
玉掛け	2名	
フォークリフト	14名	
危険物乙4類	4名	
包装士	1名	
包装管理士	4名	

(9) 教育訓練終了一覧

講習名	受講者数	備考
安全管理者選任時検修	4名	
職長安全責任者教育	6名	
安全衛生推進講習	5名	内2名今期受講
KYT研修	3名	
リスクアセスメント研修	1名	

1. 組織の概要

(10) 実施体制



責任・権限・役割

職名	責任・権限・役割
代表取締役社長	1 環境マネジメントを実施するために責任、権限、役割を定め、各自が環境経営システムの中で、どのような役割を担っているかを認識できる組織体制を従業員に周知する 2 環境管理責任者を任命し、EA21の運用における責任と権限を与える 3 EA21の実施及び管理に必要な人員、設備、運用など(以下資源という)を準備する 4 環境経営方針を制定する 5 EA21全体の評価と見直しをし、必要な指示を行う
環境管理責任者	1 方針に基づく目標の設定及び推進確認 2 EA21システムの円滑な運用 3 データの収集、文書の作成、管理 4 社長への状況、実績の報告
EA21事務局	1 環境管理責任者の補佐 2 EA21システムの構築、運用、維持に関する文書、記録の管理
製造部・業務部	1 取組内容を把握し、率先して取り組む 2 現場の5S
総務部	1 事務所の電力、燃料、水使用量の管理 2 事務所の5S
営業部	1 販売拡大、リサイクルマークの推進 2 営業車の燃費管理及びエコ運転の推進
全従業員	1 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を認識し、実践する 2 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 3 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告、連絡、相談

2. 環境経営方針

松美段ボール株式会社 環境経営方針

基本理念

松美段ボール株式会社は、リサイクルシステムが確立されている段ボール製品を社会へ提供していく事で循環型社会を支えると共に、製品の製造販売に当たって省資源、省エネルギー等に努め地球温暖化防止に貢献します。

行動方針

- 1、常に環境への影響を考え、環境負荷の少ない、段ボール製品を積極的に世の中へ提供します。
- 2、環境保全の重要性を認識し、事業活動に起因する環境影響を評価しつつ 下記の事を積極的に推進します。
 - ① 省資源に取り組めます
 - ② 省エネルギーに取り組めます
 - ③ 廃棄物削減とリサイクルの推進に取り組めます
 - ④ 水使用量の削減に取り組めます
 - ⑤ 有害化学物質使用量の削減に取り組めます
 - ⑥ 環境に配慮した製品の活用に努めます
- 3、川棚町の環境を大切に、周辺地域の環境美化に努めます。
- 4、技術的・経済的に可能な限り、環境経営目標を定め環境保全活動の継続的な改善、及び汚染の予防を図ります。
- 5、環境関連法規制、及びその他の要求事項を遵守した環境活動を推進します。
- 6、環境経営方針は文書化し、全社員及び協力業者に周知徹底すると共に、一般の人々にも公開します。

改定日 2020年 3月1日

制定日 2010年 4月1日



代表取締役社長

杉本和基

3.環境負荷の状況

(1)環境への3カ年の環境への負荷の実績

(年度は1月～12月)

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	107,523	108,148	101,089
電気使用量	kWh	80,756	81,274	76,171
ガソリン使用量	L	10,405	10,450	9,207
軽油使用量	L	14,781	14,870	14,499
一般廃棄物排出量	kg	144	719	1,279
産業廃棄物排出量	kg	0	0	23,328
水使用量	m ³	150	141	129
総排水量	m ³	150	141	129
化学物質使用量	kg	使用なし		
太陽光発電（売電）	kWh	19,644	19,176	11,679
資源等使用量	kg	1,854,940	1,817,127	1,727,738
資源使用量	kg	2,219	2,207	1,910
循環資源使用量	kg	1,852,721	1,814,920	1,725,828
総製品生産量または総商品販売量	千m ²	2,689	2,669	2,553

購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.548kg-CO₂/kWh(2018年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。

4. 環境経営目標

(年度は1月～12月)

項目	単位	2018年度 実績 (基準年)	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
1 二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	108	104	104	100
①電力使用量の削減	kWh	80,756	84,000	84,000	83,000
②ガソリン使用量の削減	ℓ	10,405	9,000	9,000	9,000
③軽油使用量の削減	ℓ	14,781	16,800	16,800	16,800
2 廃棄物排出量の削減					
故紙発生率の削減	%	3.2	3.1	3.1	3.0
事務所コピー枚数の削減	—	—	目標設定せず,都度実施		
3 リサイクルの推進					
段ボール販売量の増加	千㎡/年	2,808	3,000	3,000	3,000
4 水資源の削減					
上水道使用量の削減	㎡/年	150	160	160	160
5 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用	—	都度実施	都度実施	都度実施	都度実施
リサイクルマーク印刷率向上	%	99.4%	100%	100%	100%
6 地域環境美化活動					
地域環境美化活動	12回/年	12	12	12	12
地域故紙回収	600kg/月	1130	600	600	600
* 購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.548kg-CO2/kWh(2018年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。 * 'リサイクルマーク印刷率向上:リサイクルマーク()を段ボールケースに印刷する					

5.環境経営計画

○環境経営計画に必要な具体的取組を次のとおり策定しました。

環境経営目標	目標値(2020年度)	目標達成のための主要な環境活動	責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減			
①.電力使用量の削減	84000kWh	1) 必要のない電気(照明)を消す 2) パソコンの電源OFFを励行する 3) 空調の温度設定に留意する 4) 空調機のフィルターの清掃をこまめに行う 5) 省エネ型電化製品の採用を考慮する(照明のLED化) 6) 工場における省エネとしての設備導入 7) デマンドによる管理 8) カッターフロアの間欠運転	工場長 総務
②・③.ガソリン・軽油使用量の削減	ガソリン:9000L 軽油:16800L	1) エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等) 2) アイドリングストップの励行 3) 最短の配送ルート事前に検討する 4) タイヤ空気圧等、車両整備を行う 5) 走行距離の記録を確実に 6) ハイブリッド車の導入	常務
2. 廃棄物排出量の削減			
故紙発生率の減少	3.1%	1) 分別処理の徹底 2) 機械のメンテナンスによりFDCロス率の削減 3) 機械のメンテナンスによりグルアロス率の削減	工場長
事務所コピー枚数の削減	目標設定せず、都度実施	1) ミスコピーを無くす 2) コピー終了後は、リセットボタンを押す	総務
3. リサイクルの推進			
段ボール販売量の増加	3000千㎡	1) 1日の訪問軒数を10軒以上 2) 新規の販売先の開拓5軒/月以上 3) リデュースにつながる材質、形式の提案(サンプルカッターの導入)	常務
4. 水資源使用量の削減			
上水道使用量の削減	160㎡	1) 節水シールの貼り付けとポスター掲示 2) 水道の出しっ放し洗いをしない 3) 洗車時の節水の励行	業務 総務
5. 事業活動に伴う環境配慮			
環境配慮製品の活用	環境配慮製品の活用	1) 当社で購入可能な商品を取捨選択する 2) 省エネ製品購入に努める	総務
リサイクルマークの印刷率向上	100%	1) リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	常務
6. 地域美化活動			
地域美化活動 地域古紙回収	地域美化活動 12回/年 600kg/月	1) 月1回会社周辺の清掃を行う 2) 全員参加を原則とする 3) 月1回会社及び周辺家庭より回収する	総務

6-1. 環境経営目標の実績とその評価(2020年度)

環境目標項目	単位	目標値	実績	* 達成率	判定
1 全社二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	104	101	103.0%	○
*①電力使用量の削減	kWh	84,000	76,171	110.3%	○
②ガソリン使用量の削減	L	9,000	9,207	97.8%	○
③軽油使用量の削減	L	16,800	14,499	115.9%	○
2 廃棄物排出量の削減					
①故紙発生率の削減	%	3.1	3.1	100.0%	○
事務所コピー枚数の削減	—	目標設定せず,都度実施		—	○
3 リサイクルの推進					
段ボール販売量の増加	千㎡/年	3,000	2,553	85.1%	×
4 水資源の削減					
上水道使用量の削減	㎡/年	160	129	124.0%	○
5 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用	—	目標設定せず,都度実施		—	○
リサイクルマーク印刷率向上	%	100%	99.8%	99.8%	○
6 地域美化活動					
地域環境美化活動	12回/年	12	12	12	○
地域古紙回収	kg/月	600kg	1130kg	188.3%	○

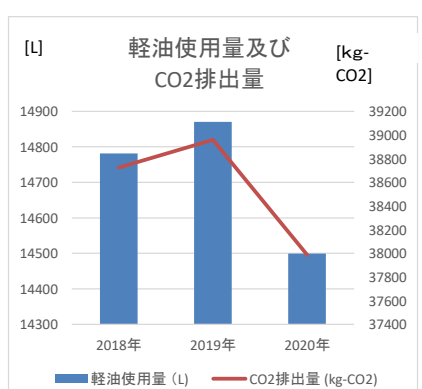
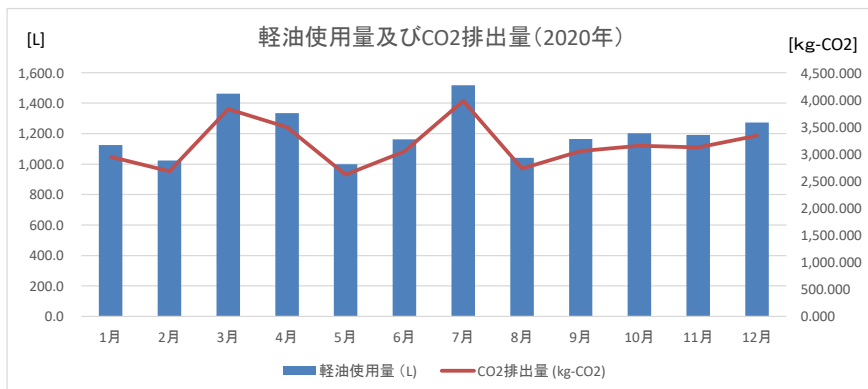
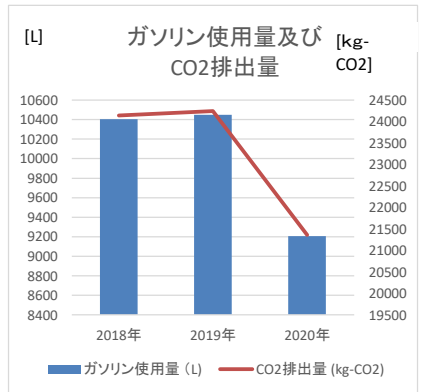
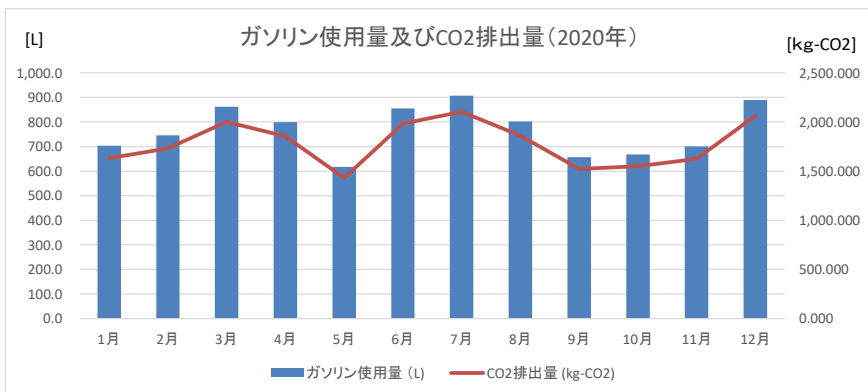
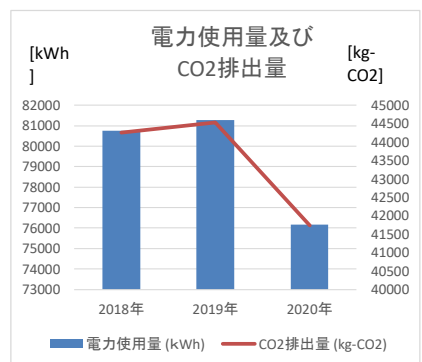
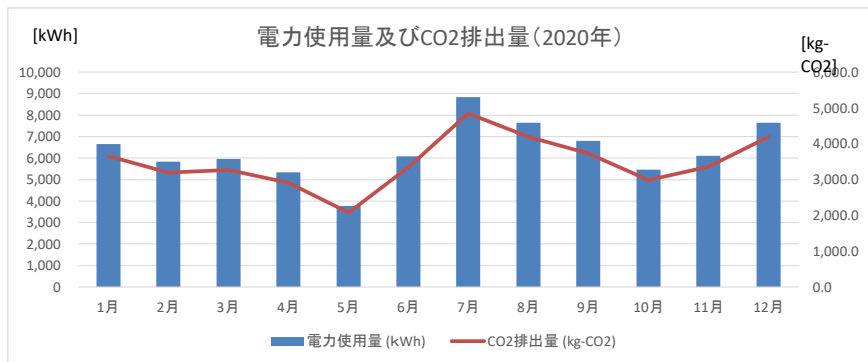
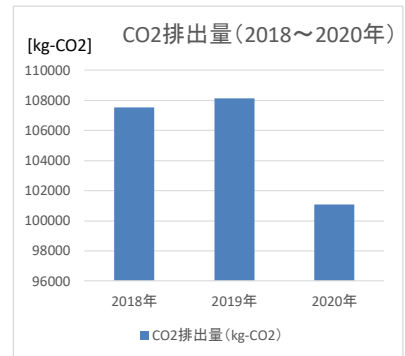
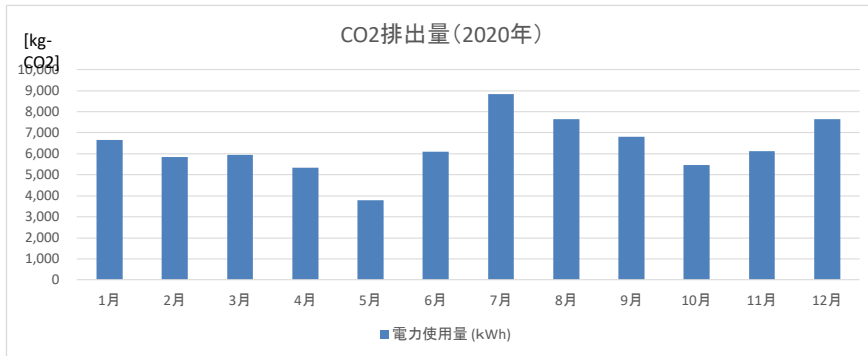
* 達成率:改善の場合＝目標値/実績, 未達成の場合＝実績/目標値

判定: 90%以上 ○。90%未満 ×

*購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.548kg-CO2/kWh(2018年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。

6-2. 環境負荷の年間推移(2020年度)

全社二酸化炭素排出量の削減



7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価(2020年度)

○'当社における、2020年度の環境経営計画の実績・取組結果とその評価はつぎのとおりです。

環境経営目標	目標達成のための主要な環境活動	スケジュール				責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
①電力使用量の削減	1) 必要のない電気(照明)を消す	○	○	○	○	工場長 総務
	2) パソコンの電源OFFを励行する	○	○	○	○	
	3) 空調の温度設定に留意する	○		○	○	
	4) 空調機のフィルターの清掃をこまめに行う	○	○	○	○	
	5) 省エネ型電化製品の採用を考慮する(照明のLED化)	○	○			
	6) 工場における省エネとしての設備導入	○	○			
	7) デマンドによる管理	○	○	○	○	
	8) カッターブロアの間欠運転	○	○	○	○	
②・③ガソリン・軽油 使用量の削減	1) エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等)	○	○	○	○	常務
	2) アイドリングストップの励行	○	○	○	○	
	3) 最短の配送ルートを事前に検討する	○	○	○	○	
	4) タイヤ空気圧等、車両整備を行う	○	○	○	○	
	5) 走行距離の記録を確実にを行う	○	○	○	○	
2. 廃棄物排出量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
①故紙発生率の減少	1) 分別処理の徹底	○	○	○	○	工場長
	2) 機械のメンテナンスによりFDCロス率の削減	○	○	○	○	
	3) 機械のメンテナンスによりグルアロス率の削減	○	○	○	○	
②事務所コピー枚 数の削減	1) ミスコピーを無くす	○	○	○	○	総務
	2) コピー終了後は、リセットボタンを押す	○	○	○	○	
3. リサイクルの推進		1～3	4～6	7～9	10～12	
段ボール販売量の 増加	1) 1日の訪問軒数を10軒以上	○	○	○	○	常務
	2) 新規の販売先の開拓5軒/月以上	○	○	○	○	
	3) リデュースにつながる材質、形式の提案(サンプルカッターの導入)	○	○	○	○	
4. 水資源使用量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
	1) 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	○	○	○	業務 総務
	2) 水道の出しっ放し洗いをしない	○	○	○	○	
	3) 洗車時の節水の励行	○	○	○	○	
5. 事業活動に伴う環境配慮		1～3	4～6	7～9	10～12	
環境配慮製品の活用	1) 当社で購入可能な商品を取捨選択する	○	○	○	○	総務
	2) 省エネ製品購入に努める	○	○	○	○	
リサイクルマークの 印刷率向上	1) リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	○	○	○	○	常務
6 地域美化活動		1～3	4～6	7～9	10～12	
地域美化活動	1) 月1回会社周辺の清掃を行う	○	○	○	○	総務
	2) 全員参加を原則とする	○	○	○	○	
地域古紙回収	3) 月1回会社及び周辺家庭より回収する	○	○	○	○	

8 環境経営計画の取組み結果と評価及び次年度の取組み

- | | |
|----------------|--|
| 1. 二酸化炭素排出量の削減 | 二酸化炭素排出量は目標達成
ガソリン使用量のみが目標を下回っている。引き続き無駄遣いのないよう努めていく |
| 2. 廃棄物排出量の削減 | 適合。引き続き廃棄物排出量削減に取り組む |
| 3. リサイクルの推進 | 販売量は目標の85.1%と未達
新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化が主な原因
今後は新規マーケットの小ロットの通販需要などを積極的に取り組んでいく |
| 4. 水資源使用量削減 | 適合
今後も無駄遣い、設備の異常などないように監視する。 |
| 5. 環境配慮製品 | 適合、従来通り進める。 |

（総括）

販売量回復、ロス減少、原単位改善のためクレームゼロを目指し、活動を行った。

販売量以外の項目については、目標達成できた。

製造のクレームについては、依然として多発している。

販売量については、新規マーケットの小ロット需要の開拓を進めるとともに、包装資材商品の提案を通じてマーケットの深掘りに取り組んでいく。また、コロナ対策グッズ・災害対策製品の提案を通じて新規マーケットの開拓に繋げていく。

クレームについては、社員教育、検査の徹底によりクレームゼロをめざす。

9.当社の環境への取組(1)

1, 地域美化活動として月1回会社の周辺清掃を行なっています



2, 社員合同研修会

年2回グループ会社を含む全社員でクレーム、生産性向上などについての発表、討議を行っています
また、環境活動の成績、進捗について報告をしています



3, コロナ感染症対策

コロナ感染症対策として、顔認証体温計を導入しました。会社入口に足踏み消毒液を設置しました。
空間除菌消臭装置『エアロビュア』を2台設置しました。



9.当社の環境への取組(2)

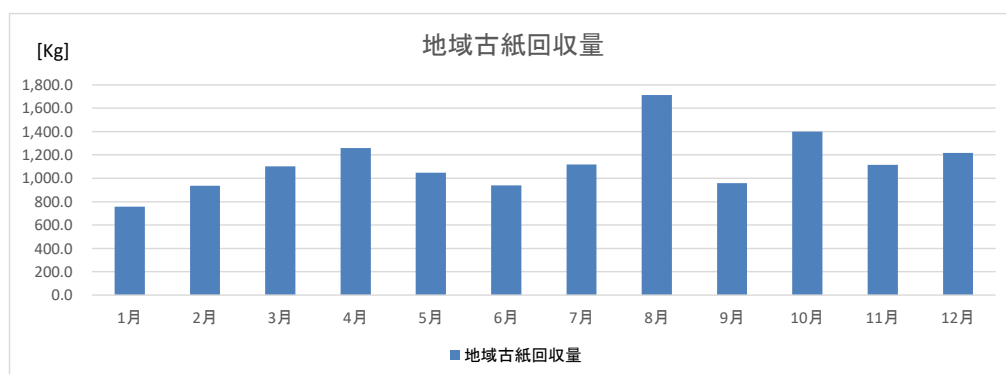
4, 熱中症対策

熱中症対策として、ウォーターサーバーを設置しています。
また、この水タンクは災害用の備蓄にもなります。



5, 家庭からの古紙回収実績 (リサイクル推進のための取組み)

従業員及び地域の家庭からの古紙を回収しています
2020年度実績 13,559.5kg



6, 消火訓練の実施

消火訓練を実施しました。実施日:8月3日



10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

	関連法規等の名称	条項	遵守すべき事項	遵守状況
	浄化槽法	第5,8条	設置、保守点検など適正な管理	遵守
	道路交通法	第74条	車両等の使用者の義務・安全運転管理者等	遵守
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条の3	産業廃棄物管理票	遵守
	自動車リサイクル法	第5条	自動車所有者の責務	遵守
		第8条	使用済み自動車の引渡義務	遵守
	川棚町環境保全条例	第8、9条	事業者の責務	遵守

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

名称	過去3年間	2020年度
法律違反の有無	なし	なし
訴訟の有無	なし	なし
外部苦情の有無	なし	なし

2021年5月10日 上記の環境関連法規等の遵守状況は良好。また違反、訴訟について無いことを確認しました。

2021年5月15日
環境管理責任者
福田 栄

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営システムの運用については、毎月のEA21・QMS委員会で各部署の責任者からの環境経営目標達成状況、是正処置及び環境経営システムの運用状況等について報告を受け、社長、環境管理責任者より指示を出しています。

営業部門においては、長崎県北部及び佐賀県の新規マーケットの小ロット需要の開拓を進めるとともに、顧客への段ボール以外の包装資材商品の提案を通じてマーケットの深掘りに取り組むよう指示しました。

コロナ禍、異常気象などにより市場も縮小していくと予想されるが、飛沫感染対策の段ボールパーテーションや災害対策製品など段ボールの素材を活かした製品の提案を通じて新たな市場の開拓に繋げていくことが必要と考えています。

また、2020年2月よりスタートした自社オリジナルのWEB受注システムは12月までに38件の登録がなされ活用されています。

毎月の登録件数の目標は5件となっていますので、引き続きお客様への提案を続けていくことを指示しました。製造部門は2020年度もクレーム数が依然として多く、各原単位の悪化の一因となっています。検査マニュアル、作業標準の充実を図りながらクレームゼロへの実現へ向けて引き続き取り組んでいくことが重要です。会社全体としてはグループ合同研修会を通じて各部署の目標に対する取り組みの進捗共有をしながら、仕事の仕方を変える機会とし、目標に取り組むよう指示しています。

2021年5月15日
松美段ボール株式会社
代表取締役社長
杉本 和基